

●受難節第四主日

泉のほとり

今日の詩編「第一四二篇」

あなたに向かつて両手を広げ

渴いた大地のようになわたしの魂を

あなたに向けます。



わたしと出会うために

聖書の話を書く時に大事なことは、主イエスと出会うことです。主と出会わなければ、知識は増えても、生き方は変わらないからです。今日の箇所は主イエスと出会って、生き方が変わった女性の話です。

この人は五回も結婚した人です。自分を本当に愛してくれる人が欲しかったのです。でもそれが得られずにいました。

この人はサマリア人でした。普通ユダヤ人はサマリア地方を通りません。でも主はサマリアをお通りになりました。聖書は「通らねばならなかった」と書いています。この女性に会うためです。

お昼頃、シカルの町外れにある井戸の傍で、主が休んでおられる時、この女性が水を汲みに来ました。水くみは朝の仕事です。それを暑い昼頃に来たのは、他の女性に会いたくなかったからです。主イエスに気づきながらも、無視して井戸から水を汲んでいる女性に、主が「わたしに水を飲ませてください」と声をかけられます。

それに続くやりとりは、興味深いものです。ユダヤ人である主イエスの求めを、この女性は拒否するのですが、でも、水を与えるのはわたしだ、という主の言葉に惹かれて、最後には、その水をください、と願うようになります。そうすると主は、あなたの夫をここに連れて来なさいと、いきなり彼女の問題の中心に切り込まれます。「夫は

いません」という女性の答えに「その通り。あなたは五人の夫がいたが、今一緒に住んでいるのは夫ではない」と、正確に自分の現状を言い当てられた主イエスの言葉に驚いた女性は、主を預言者だと考えます。神さまから来た人でなければ、こんなことはできないと思ったのでしょうか。

その後、話は礼拝のことになります。ユダヤ人とサマリア人は礼拝する場所のことで対立していたからですが、彼女は恐らく、サマリア人の礼拝にも加わることは許されていなかったでしょう。だから、全く新しい礼拝が始まっていた、という礼拝をする者を神が求めておられるという主の言葉に心惹かれたと思います。そういう礼拝なら自分も加えていただけると思ったことでしょうか。

最後に彼女は、キリストと呼ばれる救い主が来られることを知っている、と言います。知っているだけでなく、心の底で待っていたことでしょう。その彼女に主は、自分がそうだとされるのです。

神さまの救い主が、こんな町外れで、このわたしと語り合ってくださいました。この出来事は彼女を新しくしました。彼女は水瓶を置いて、町へ帰って行きます。結局主は水を飲ませてもらえなかったのですが、この女性以上に、その心は満たされていた。このような出来事のために、主はこの世に来てくださったのだからです。

むなししい器

ごらんください、主よ

満たされる必要のあるむなししい器を
わたしの主よ、

どうかこの器を満たしてください。

わたしの信仰は弱いのです。

どうか強くしてください。

わたしの愛は冷え切つています。

わたしの愛を暖め、わたしを熱し、

わたしの愛が

隣人に届くようにしてください。

わたしには強く堅固な信仰が欠けています。

ときとして、わたしは疑い、

あなたをひたむきに

信頼することができません。

ああ、主よ、どうか助けてください。

わたしの信仰を強め、

あなたを信頼させてください。

わたしはあなたのうちに、

わたしがもつ宝のすべてを置いています。

わたしは貧しく、あなたは富んでおられ、

貧しい者に対して恵み深くあられる方。

わたしは罪人であり、あなたは正しく、

わたしは罪にまみれ、あなたのうちには

義が満ちあふれています。

ですから、わたしは

あなたとともにいたいのです。

わたしはあなたからいただくばかり、

あなたに差し上げるものは

なにひとつありません。アーメン

平野克己 「祈りのともしび」より

マルティン・ルターの祈り

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでの
コーヒーサービスと、園舎二階リズム室では
「ぶどうの会」が、また一〇時四〇分から、
幼稚園舎一階のコスモスの部屋で紫園音楽
伝道師の指導による賛美と祈りの会が開かれ
ます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をし
ます。引き続き愛餐会をします。今日のメ
ニューは、ちらし寿司、ぶりの照り焼き、葉
野菜のお浸し、お澄まし、デザートです。

○昼食後、レントの「証しと祈りの会」をホー
ルで行います。

○感想発表の会の後、定例の役員会をカナン
ルームで行います。

○未週一八日は三月教会総会です。来年度の課
題や計画を決める大事な総会です。教員は
ご参加ください。

○次週は教会総会のため、礼拝は一〇時からの
一回です。時間が変わりますので、ご注意く
ださい。

○一六日(金)朝一〇時から、附属幼稚園の第
六七回卒園式礼拝です。五九名が卒園しま
す。

○明日午前一〇時半から、東京説教塾の例会が
ホールで行われます。

○古村牧師は明日から一五日(木)まで八王子
で聞かれる神学生の説教セミナーで奉仕をし
ます。

公 告

左記により、三月教会總會を開催いたします。現任陪餐会員はお集まりください。

二〇一八年三月十一日

キリスト品川教会 代表役員 古村和雄

記

日 時 三月一八日(日) 正午

場 所 グローリア・チャペル・ホール

議 題

一 菊池美穂子教師志願者を

キリスト品川教会の教師に立てる件

二 二〇一八年度教会課題案

三 二〇一八年度教会行事予定案

四 二〇一八年度主日および週間集会

予定 案

五 二〇一八年度教会一般会計予算案

六 二〇一八年度地域センター会計

予算案

七 二〇一八年度グローリア・チャペル

経費管理会計予算案

八 二〇一八年度附属幼稚園会計予算案

九 二〇一八年度長期修繕計画案

一〇 教会役員選挙

一一 監事選挙

二〇一八年度教会役員候補者

教会役員会は次の一〇氏を新役員候補者として選考いたしました。

荒美 俊二 石川 一 神山 宣紀

川越 啓子 楠 富士子 野中 君子

藤本 敏三 三澤 茂夫 山下 純一

山名 弘史

以上

聖書の会へどうぞ

3月14日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「全く心を留めなかった」

使徒18章12〜17節

黄允湜副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「朽ち果てるままには」

使徒13章33〜41節

黄允湜副牧師

次週礼拝

●一回礼拝(午前10時)

讚美歌 讃2-1363番

説教 「死を越える命がここに」

聖書ヨハネ11章17〜27節

説教者 古村和雄 牧師

やさしい日が



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃美歌21 363番

やさしい目が

説教 「神の業が現れるために」

聖書 ヨハネ9章1節～12節 (新約P184)

司式 森洋之兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允浚 副牧師

前奏曲 「静けき祈りの」 D.カフ

○ 讃美歌21 363番

1. み神の方は 山を起こし

海原を広げ 空を造る

深い知恵により 日は輝き

月は照りわたり 星もめぐる

2. み神はめぐみで 地を満たして

造られたものを よしとされた

見よ その不思議は 大海にも

わが歩む地にも 大空にも

3. 花も木も示す 主のみ栄え

雨雲も風も 主に従う

すべてのもの 皆 みむねにより

造られ守られ ここに生きる

○ ピアノによる讃美

「カルバリの主よ」

○ やさしい目が

1. やさしい目が きよらかなめが

きょうもわたしを みていてくださる

「まっすぐにあるきなさい」とみていてくださる

2. おおきなてが あたかいてが

きょうもわたしを ささえてくださる

「はなれずにあるきなさい」とささえてくださる

3. かぎりのない ひろいところが

きょうもわたしをまもってくださる

「やすらかにあるきなさい」とまもってくださる

聖餐曲 「ファンタジー」 G.P.ソルマン

後奏曲 「前奏曲とフーガ ト短調」 J.ブラーム

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 140番 213番

詩編 第143編 (旧約P983)

説教 「完全な者になりなさい」

聖書 IIコリント13章11節～13節 (新約P341)

司式 森洋之兄

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「キリスト、全ての世の慰め」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 140番

○ ピアノによる讃美

「カルバリの主よ」

○ 聖歌隊による讃美

「愛するイエス」

愛するイエス 何をなされて

こんなさばき 受けられたか

どんな罪を おかされたのか 愛する主は

むち打たれ 次の冠

かぶせられ さげすまれた

酸いぶどう酒 十字架の上で 口にされた

羊飼いは 羊のために

その命 あえて捨てる

正しい主が しもべのために 罪を担う

なんと深い 主のみ心よ

なんと広い イエスの愛よ

責め苦の道 歩まれたのは 私のため

○ 讃美歌 213番

聖餐曲 「装いせよ、わが愛する魂」 S.カフ=エラート

後奏曲 「前奏曲とフーガ ト短調」 J.ブラーム

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎回お持ちください。